

FLORE21 ホットニュース

気温差 20度の「暑い」→「寒い」1週間でした。

東京のあちこちで早咲きの桜が一気に開花し、ピンクの景色になっているところがあります。

ミモザも出荷ピークを迎え、市場の中は鮮やかな黄色の春になっていました。

早すぎる「春」と逆戻りの「真冬」で人間同様に植物も戸惑っていることでしょう。

年明けから2か月、商売的には厳しい期間でしたが、来週半ばからは、そろそろ春の繁忙期の雰囲気になってくるはずです。花の出荷については気候による不安が若干ありますが、賑わいのある市場を期待したいですね。

今週のホットニュースは、

○大田店 春はピンク♡ ピンクのガーベラの紹介です

○世田谷店 日本とアメリカを結ぶ「桜」の歴史

○葛西店 伊藤若冲 300年前の花の描写

○会長小池のコラム(過去記事) 「3本の矢」あれから10年、今の矢は？

以上の3レポート+1です。それでは、どうぞご覧ください

OFLOの部屋

2024年の桜の開花予想・・・東京は3/20頃の予想だそうです(*´▽`*)

週末は一気に冷え込み冬のような寒さでしたが春もすぐそこまで来ているみたいですね(^ω^)

)花見が待ち遠しいです！

そんな中

安易ですが春といえば桜、桜といえばピンク色

今回は春らしいピンク系のおすすめガーベラをお馴染み

『さぎやまのはな』さんの品種からご紹介させていただきます！

薄っすら桜色の『クリームスプリングス』↓

大輪スパイダー咲で細い花びらの動きが何とも言えない繊細で儚さを感じさせます(-。-)y--°。°。



去年あたりから定着し始めたこちらは大輪スパイダー咲で複色の『スタント』 中心部分のもしゃもしゃした感じが何ともラブリー(*' ω' *)



ピンクといってもアプリコットよりの色合いですが個人的には好きな色!(^^)!
よく見ると独特な色のグラデーションがある『センシー二』



パスタ系品種としては結構古株・・・なぜか惹かれる『パスタロサート』
染色液で染めると色々な表情をみせてくれます(^O^)/
新たな可能性も示した人気者ですね！



同じパスタ系でもこちらはミニパスタ
紫よりのピンク『パスティーニビットリア』と
ここ何年かですっかりお馴染みになった『パスティーニペサロ』



フルダブル系の中でもピンク系の品種はどれもキュート！
その中でも一押しです 『リサリサ』



こちらもフルダブル系のここ最近の新品種 『リップライナー』



小輪スパイダー咲の品種としては定番になりました 『イギー』
小さいけど花びらの動きはダイナミックですね(^_^)
こちらのイギーも染めると様々な表情を見せる品種です(*' ω' *)



ジェルミニ系にも新たな2色

鮮やかな桜色の『ディクソン』と

水彩画のような淡ピンクに染まる『マルディーニ』

ディクソンを見てると桜餅が食べたくなってきます(◡_◡)

色が似てる・・・ただそれだけ(*´▽`)



最後は大輪『リザンドラ』 迫力ある大輪の複色品種ですね(*´ω`*)



今回は12品種紹介させて頂きました！

好みの春色のガーベラは見つかりましたでしょうか？

まだまだありますが今回はこの辺で、また次回ご紹介させていただきます(^)/

大田店 高木

世田谷店おすすめ

もうすぐお花見の季節ですね。

皆さん、右の写真は世田谷市場に程近い祖師谷公園を流れる仙川の辺りに植えられている桜並木です。

静かに春を待つ桜並木ですが、その背後にはアメリカの大統領夫人を含む日米の政治家、職人、専門家などの桜を愛する人達の100年以上に及ぶ情熱の物語が隠されているのです。

今回は皆さんと一緒に110年にも及ぶ歴史のストーリーを追っていきましょう。

五色桜の誕生

江戸時代が終わり、明治時代になると旧大名や社寺の権威が下がり都市改造が進められるようになりました。それにより桜が植えてある敷地は荒廃し、所有者が変わるなどして多くが伐採されるようになったのです。

そんな実況を染井村（現豊島区）の植木職人だった高木孫右衛門や江北村（現足立区）の村長だった清水賢吾も惜しんでいました。そんななか、当時荒川（現・隅田川）は、たびたび氾濫して付近の土地に被害を与えていましたが、1885年（明治18年）7月の暴風雨と高潮による被害をきっかけに、堤防上に桜を植えてはどうかという周辺住民の要望が持ち上がると清水は高木と交渉し、高木が集めていた78種3000本のサクラをそっくり江北村から西新井村までの堤防上6キロメートルに渡り鳥に植えたのでした。資金は関係地元民が出し合いました。

もしこのとき入手しやすかったソメイヨシノだけを植えていたら、現在見ることのできる江戸時代の品種はもっと少なかっただろうと言われています。



人々はそんな桜を観るために荒川(現隅田川)には多くの乗合船が出たり、定期航路が臨時便を江北まで延長したりして、多くの花見客で賑わうようになりました。

植えられたサクラは 1903 年(明治 36 年)には見頃となり、それ以降、荒川堤は東京一の桜の名所となったのでした。様々な種類、色であった荒川堤の桜は当時の新聞に「五色に彩られ」と記事が紹介され、五色桜と呼ばれるようになり、多くの人で賑わうようになりました。

五色桜海を渡る

そんな荒川堤の五色桜が太平洋を越えてアメリカ合衆国、ワシントン D.C.ポトマック湖畔に移植される事になります。その立役者となったのが紀行作家シドモア女史です。

彼女、エリザ・シドモアは世界を旅しながら、「ナショナル ジオグラフィック」誌に各地の記事を寄稿していたジャーナリストです。

日本には、1884 年 27 歳の時に来日し、特に春咲き誇る桜に魅せられました。当時「ナショナル ジオグラフィック」誌の記事の中で、日本の美しさ、日本国民の礼儀深さを称賛していました。



現在の荒川堤の色とりどりの桜



エリザ・シドモア



1920年ごろ当時の様子を描いた絵葉書



彼女はワシントンD.C.のポトマック河畔を、愛する日本の桜で彩りたいと願い、なんとその後約 25 年もの間、ワシントンの公的機関に陳情を重ね、ついに彼女の熱意は日米両国を動かしました。

タフト夫人(左)と第 27 代アメリカ大統領ウィリアム・タフト(右)

尾崎行雄東京市長を始め日米双方の多くの方々の尽力によって荒川堤の五色桜の苗木 3000 本の贈与が決まりました。

この時、資金面で支えたのは、三共製薬(株)の創始者でタカジアスターゼやアドレナリンを発見した高峰讓吉博士でした。また、横浜植木(株)が苗木の梱包・発送を、日本郵船(株)が無償で輸送を引き受けて下さいました。

多くの方の善意と努力で1912年(明治 45 年) 3月27日、ワシントンでシドモア女史も見守る中、タフト大統領夫人と当時の珍田いは(ちんだ いわ) 駐米大使夫人によって植樹式が行われた。

実はその桜の寄贈が実現する前の 1909 年、2000 本の桜の苗木が最初の寄贈でありましたが、翌年現地ワシントンに届いたものの、害虫被害により全て焼却処分になってしまったのでした。



【全米桜まつり】

多くの人々の努力が実り、荒川の五色桜はポトマック湖畔で人々に愛されて沢山の人が桜を見に集まるようになり今や世界的に有名な全米桜まつりが開催されるようになりました。

2 週間の祭りは 3 月最後の土曜日のファミリーデーに始まり、国立建築博物館で公式の開会式が行われる。文化イベントや活動の配置は次の日に行われる。スミソニアン凧揚げ大会はおおむね祭りの最初の週末に行われる。祭り中は寿司や日本酒の祝賀や桜に関する講義、タイダルベイスンの自転車ツアー等が行われる。その他のイベント

には芸術展示(写真、彫刻、アニメ等)、落語など文化公演、着物のファッションショー、歌や踊り、各掉尾、商人主催のイベント、ラブビューニオントーナメントなどがあります。

2度目の土曜には、サウスウエストでステージフェスタが行われる。この祭りが終わるとワシントン運河近郊で花火が始まる。翌朝、ワシントン記念塔からさくら10マイルランが行われる。また、同日にタイダルベイスンに日本から送られた石灯籠の点灯式のために高官が集まる。桜だけでなく日本にまつわる様々な文化を楽しめる色々なイベントが開催されて楽しそうですね。



全米さくら祭りの様子

荒川堤五色桜の消滅と里帰り桜

今でもアメリカの方々に愛されて続けている荒川の五色桜ですが、寄贈された後に荒川放水路(現荒川)の建設が始まり、本家の荒川堤桜の多くが滅失し、また第二次世界大戦による被災や戦後の急激な都市化などにより多くのサクラが荒川堤から失われていきました。

しかし、戦後その失われた桜の復活を目指す動きが始まります。こうした状況の中、足立区と東京都は昭和27年にワシントンにお願いして以前東京から贈ったサクラの苗木をもらうことにしました。そして昭和56年には区制50周年記念として、再びワシントンからサクラの里帰りが実現することとなり。ポトマック公園の桜の枝を採取し、30品種以上、3,000本の「桜の里帰り」を実現させ、現在の都市農業公園や五色堤公園に植えられました。

また、この事業の一環として、ワシントン桜まつり名誉会長だったナンシー・レーガン大統領夫人からソメイヨシノの桜が1本、足立区に寄贈されました。

この桜は「レーガン桜」と呼ばれ、昭和59(1984)年、都立舎人公園に植樹され、今も花の時期には公園を訪れる人々を魅了しています



アメリカ合衆国第40代大統領



舎人公園に植えられたレーガン桜ですが、都市農業公園でも分植され見ることが出来ます



このレーガン桜は分植されて都市農業公園でも見る事が出来ます。



冒頭で紹介した祖師谷公園の桜は実はそのポトマック川に植えられたソメイヨシノを親に持つ桜なのです。

じっと何も言わず春の訪れを待っている様ですが沢山の桜を愛する人々の情熱によりここに存在している桜なのです。

都立農業公園や、荒川の土手では里帰りしてきたいろいろな品種の桜を見る事が出来ます。



冒頭で紹介した祖師谷公園の桜は、荒川堤の桜を寄贈されたポトマック公園の桜を里帰りさせた桜なのです。

どうですか？

今シーズンのお花見は祖師谷公園や足立区都市農業公園や荒川堤の五色桜を見て歴史のロマンを感じてみてはいかがでしょうか？

ではでは。 世田谷店 中村

仕入れの素☆葛西店

伊藤若冲の花

今週は少し変わった「花図鑑」？をご案内したいと思います。

伊藤若冲 (いとう じゃくちゅう)

今から約 300 年前の江戸中期に活躍した画家で国宝や重要文化財に指定されている作品も多いので「見た事あるなあ」という方もいらっしゃるのではないのでしょうか。



若冲の絵は「主」として鳥、動物、魚を描いた物が代表作となっていますが「従」として花の絵が添えられる物が多いのが特徴です。

国宝「動植綵絵(部分)」三の丸尚蔵館収蔵

今回ご案内するのは京都の信行寺本堂の「花卉図 天井画」



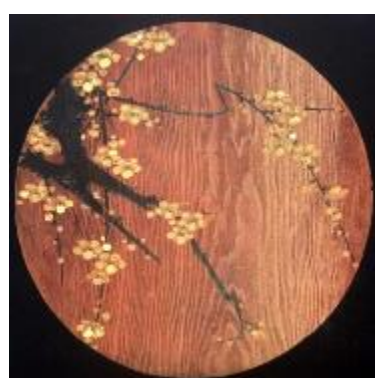
8段×21列の168柵の格子面に38センチ四方の板地に描かれた総数167枚の花の絵が並んでいます。

ご案内すると言っても基本的に一般公開はほとんどされた事も無く私も実物を見た事は有りません・・・

数年前に一般公開された時のテレビの特集番組を見てちょっと興味をそそられたので、数冊の書籍を購入したり、ネットで調べた程度の知識で恐縮です。



167枚、全て違う種類の花が描かれている訳ではなく、牡丹、梅、菊等は複数枚有るのですが若冲特有のディフォルメの効いた絵でそれぞれがとても印象深く絵心ゼロで全く絵の描けない私でも心惹かれる物が有ります。左の2枚はどちらも牡丹。



こちらは椿と梅です。限られた丸のスペースに収まっているのですが「静」のイメージの中にも枝や茎の躍動感が感じられ他の花木の絵もお勧めです。



続いて水仙と百合です。
現在とは品種の違い等もちろん有るかと思いますが水仙の葉の動きや百合の花茎の線がとても印象的です。



そして朝顔とひまわり。
朝顔はかなりシンプルな方向にディフォルメされていますが対照的にひまわりは外周の舌状花と中心の管状花がとても細かく描写されています。

観察眼、描写力、想像力に少しでも肖りたい・・・

木の板地に描かれている上に天井画と言う性質状、保存が難しく（絵が下向きなので絵具が落ち易いそうです。） 信行寺の天井画は、なかなか一般公開はされないのです。

しかし、一度は直接見てみたいなと思っております。



ちなみに、こちらは香川県の金毘羅宮の奥書院を彩る若冲の「百花図」です。

信行寺の天井画とは対照的に金の襖に描かれた花の絵が極彩色のまま保存されています。

こちらも悲しい事に、通常は一般公開がされていません。

300年前と現在では日本の風景、景色は全く変わっていますが花を見て思う事や愛



でる気持ちはそんなに変わらないのでは・・・

当時の日本人はどのような感性で花を見ていたのか等と色々と思いを巡らせながら時々、本やネットで画像を見てもみるのも良いのではないのでしょうか。

三寒四温の時期となり、気温の変化も激しく花粉症に悩まされる方も多いかと思いますが皆様、ご自愛下さいませ。

葛西店 三浦

会長 小池潔のあれこれコラム (過去記事)

「三本の矢」(2013年02月22日号より)

「フローレで買ってください」

これは営業でも何でも無い。自分の無能さを伝えているだけの言葉である。

我々は特別の商品を持っているわけではない。たとえ持っていたとしても限りがあり、いつでもというわけにはいかない。

お客様に商品を買っていただくために、何が必要で何をしなければならないのか？私はできうる限りの密度の濃い会話、コミュニケーションこそ最も大切な営業活動だと思っている。

仲卸のすぐれた利点は、流通の通過点で仕事をするあらゆる情報の集積地点でもある。この情報をどれだけ伝えたい人に伝えられるのかが日常の営業で確かめられている。

フローレ21ではこの「ホットニュース」を右手に、左手に「東京植物図譜」これを広めること、そこで密度の濃い、質の高い会話がお客様とできることが求められている。

二つのツールはまだまだ成長過程である。ホットニュースは名の通り時機をえたニュースと多くの読者が知りたい情報が満載でなくてはならない。

それを思えばまだ完成半ばである。同じように「東京植物図譜」も美しいだけでなく、そこにこそストーリーが生まれ、読んでいただいた方の記憶に残る図譜でなければならない。

さらにもう一つの営業ツールは「ショー・ザ・フローレ」である。昨年の4月以来途絶えていた47回「ショー・ザ・フローレ」が2月25日復活する。

形はデザイナーのデモンストレーションですが、作るものは明日どのようなお店にでも置いていただける商品を作ります。



作り置きの商品も含め300個にも及ぶアレンジです。それに参考上代が付いていて、来場者は上代の半値で購入可能です。入場チケットは2000円ですが、商品を購入の際チケットは1000円として使えます。2000円の商品はチケット一枚で購入可能です。

会場もおしゃれなでデモンストレーションともども楽しんでいただけたらと思います。当日券での入場もあります、振るってご来場ください。

半年前にフローレ 21 の新しい部署、営業企画室を立ち上げました。これは3つの拠点を縦断する組織です。情報を一元化し、知恵を絞り、効率的な活動をめざします。「ショー・ザ・フローレ」もこのイベントでどのような効果を生み出すのかという議論を繰り返しました。

今後はこれほど大きな催しでなくとも、お客様に新しい発見をして頂く場所として続けたいと思っています。

どこかの政党のようですが、新しい営業の三本の矢として、大いに生かしたいと思っています。

☆☆

株式会社 FLORE21 <https://www.flore21.com>



<http://www.facebook.com/flore21com>

<https://www.facebook.com/flore21jp/>



世田谷店	Tel 03-5494-8700	Fax 03-5494-8701
大田店	Tel 03-5492-4124	Fax 03-5492-4127
葛西店	Tel 03-5659-8750	Fax 03-5659-8751
板橋店	Tel 03-6904-1813	Fax 03-6904-1814

☆☆